

事業概要シート

事務事業コード	事務事業名称	事業区分	所属コード	担当課
305020006	記念館管理運営事業	一般	7300	生涯学習課

事業開始年度	14年度
--------	------

◆事業の性質分類

<input type="radio"/>	①ソフト関係事務事業(市民サービス)	<input type="radio"/>	④施設等の維持管理的な事務事業
<input type="radio"/>	②整備関係事務事業	<input type="radio"/>	⑤行政の内部管理事務事業
<input type="radio"/>	③施設等の建設事務事業	<input type="radio"/>	⑥経常的な事務事業

【注】公の施設の維持管理的な事業で指定管理者等の導入可能性があるものは①、④の両方が該当するため両方に○印を付ける。

◆事業の背景

市民ニーズ・地域課題	関係法令、関係計画等
市名である長岡京跡をはじめ、郷土史について知りたい、学びたいという市民ニーズにこたえとともに、長岡京跡解明や郷土の文化財保護に大きな功績を残された中山修一先生の足跡と研究成果を次の世代に伝えていく	長岡京市立中山修一記念館設置条例 第3次総合計画第2期基本計画 基本3-政策5-施策2

◆事業の目的

【事業の対象】・利益を受ける人 ・最終的に影響を及ぼすことを予定している人、もの 等	【事業の目指す成果】・左記の対象がどのような状態になることを目指していますか ・成果として具体的に何か 等
市民をはじめ、長岡京跡など調査研究に携わる全国の方々	<ul style="list-style-type: none"> ・今から約1200年前にこの地に日本の都がおかれた。政治経済文化の中心地として栄えた長岡京をはじめ、誇りある歴史遺産を市民が学びあい、多くの方々との交流によって豊かな歴史を守り育て、新たな長岡京市の文化を創造することを目指して取り組んでいくこと。 ・自主的に歴史文化を学び、次の世代に語り伝える会やサークルなどができるとともに、児童や生徒が歴史について学ぶ場や機会を提供できること

◆事業費の推移 (単位:円)			H19実績	H20実績	H21見込み
収入	使用料・手数料				
	国支出金(補助率)				
	府支出金(補助率)				
	その他()				
合 計			0	0	0
支出	人件費(概算)	正規職員	従事人員(人) 0.2	0.2	0.2
		嘱託・再任用職員	人件費 1,600,000	1,600,000	1,600,000
	事業費(予算・決算)		2,430,587	2,423,792	2,469,000
	合 計		4,030,587	4,023,792	4,069,000
収支	一般財源充当額		4,030,587	4,023,792	4,069,000
	対象者あたり一般財源充当額		(母数:10歳以上の市人口 71,140人) 56.7/人	(母数:10歳以上の市人口 71,540人) 56.2/人	(母数:10歳以上の市人口 71,825人) 56.7/人

事業費の詳細	21年度予算の主なものの名称と金額 蔵書整理用賃金 60,000円、光熱水費 224,000円、役務費(電話代) 62,000円、休日夜間警備委託料 148,000円、施設管理委託料 1,676,000円、植木剪定委託料 227,000円、その他 72,000円
--------	--

◆事業の内容			
事業の手法		事業の内容	
	直営	<p>長岡京の歴史解明に一生涯を捧げ、多大な業績を残した故中山修一先生のご遺族の好意により寄付された土地(約450㎡)及び建物(2棟で床面積 112.73㎡)を利用し、先生の足跡と発掘調査研究の成果を一目で見られる記念館として平成14年9月にオープンした。先生の功績を顕彰するとともに、日本歴史における長岡京はじめ郷土学習の拠点施設として活用を図ってきた。また、歴史散策コースの一つとして位置付け、多くの市民の方々に広く利用していただいている。施設管理はシルバー人材センターに委託し、「長岡京市ふるさとガイドの会」で活躍される会員を派遣してもらっている。長岡京や文化財に詳しい案内に来館者の方々から好評を得ている。来館者は平成21年3月末で通算1万6千人余りで、毎年2千人余りとなっている。</p> <p>【休館日】火曜日、年末年始(12/28～1/4)【開館】午前10時～午後4時【入館料】無料</p>	
	全部委託		
○	一部委託		
	指定管理		
	その他		
◆事業の類似			
市における類似事業について		なし	近隣市町における類似事業について
			なし
◆過去の経過			
これまでの課題		左記の課題への、これまでの対応	
<p>① 来館数の増加 何度も足を運んでくれる「リピーター」をいかに作るか。</p> <p>② 魅力ある記念館づくり 展示替え及びHPを利用し、長岡京の情報を発信する。</p> <p>③ 市民参加型の記念館運営 友の会など等をつくり、活動した成果を記念館の展示や運営に反映させ、生涯学習の場となるようにする。</p>		<p>中山先生の蔵書や資料を整理し、蔵書目録を作成した。また、整理した資料をもとに「中山先生を学ぶ会」を行い、展示替えに向けて準備を進める。</p>	
◆現状の分析と課題			
①【必要性】・現在も市民に必要とされる事業か ・環境変化により事業目的は薄れてないか ・廃止した場合の影響は何か		②【市関与の妥当性】・市が行うべき事業か ・類似事業を行う他団体はないか ・市が行わない場合の影響は何か	
長岡京市の歴史と文化を次の世代に伝える事業であり、「だれでも、いつでも、どこでも」学べる生涯学習社会の創造のため、生涯学習ができる環境整備が必要である。		市民交流の場や生涯学習の場を提供する公の施設の目的を効果的に達成するための手法として、今後も市が継続すべきである。	
③【手法の適正】・現在の手法は最も適正なものであるか ・手法を変更する可能性はないか ・変更する場合の課題は何か		④【その他の課題】・現在の内容で目的は果たせるか ・経費や時間等に無駄はないか 等	
指定管理者制度への変更は可能だが、記念館開館の趣旨から指定管理者は長岡京市ふるさとガイドの会のような長岡京や中山修一先生の功績を語ることができる団体へ限られる。		とくになし	
◆今後の方向性と課題への対応			
方向性		【方向性の理由と想定される課題への対応】	
	継続	<p>長岡京市の歴史文化を学び、長岡京市の語り部として活躍する長岡京市ふるさとガイドの会の活力を生かしてもらうことにより、魅力ある記念館、市民参加型の記念館運営がしやすくなる。</p> <p>これまで長岡京市シルバー人材センターから会員として派遣されていたが、直接、長岡京市ふるさとガイドの会が受託することにより、会の財源確保が可能になるとともに、市からみても経費の効率化が図れる。</p>	
	拡大		
	縮小		
	統合		
○	外部委託		
	廃止		
	その他		
所属長コメント(事業の展望)			
記念館が本市の歴史文化を伝える魅力的な施設として充実を図るために、長岡京市の語り部として研さんを積んでいる長岡京市ふるさとガイドの会の活力を導入できるよう、検討を進めていきたい。			